

## 【授業科目】 看護実践と自己洞察 Nursing Practicum and Self-insight

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
大西 信行、松田 陽子、永住 沙樹	4年次前期	選択	1	15	講義	あり	巻末掲載	否
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対するフィードバック 方法	<p>授業概要／人間は意味探求によって動機づけられることを学び、病気・苦難・痛み、様々な体験の中で意味を見つけていくことを知る。意味を見いだすことで病気やなどの様々な体験を生きる力に変化させていけるような見方を学ぶきっかけとなるように、演習やスーパービジョンを実際に体験できるようにする。</p> <p>自己をみつめることができない場合には、どのようなことが関連しているのかを考えられるように、スーパービジョンの中で明らかにしていきます。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／毎回スーパービジョンの中で、グループおよび各個人にフィードバックを行う。レポートにはコメントを記入する。</p> <p>*実務経験を持つ教員が授業を進める。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー②「人間として自己の成長に努め、愛情豊かな社会人として広い見識と高い倫理観を持ち、看護の対象となる人々に共感をもって接することができる」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①臨地実習での体験を振り返ることができる。</p> <p>②自分が感じた気がかりや考えてみたい状況や場面を具体的に選り出すことができる。</p> <p>③グループスーパービジョンや個人スーパービジョンを通して、自己と対象の間に生じた事象を掘り下げて考えることができる。</p>							
時間外学習に必要な内容・時間	<p>臨地実習全体を振り返り、ある状況や場面を取り上げて、自己のありかた、自己と対象の間、対象について再び考えてみます (各1時間)。</p> <p>講義の始まる前から、実習での気がかりな状況や場面について想起して見てください (1時間)。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間 (2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回) (1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回) (1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回) を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 自己と振り返り 病気や苦難の意味とは</p> <p>第2回 臨地実習の振り返り 領域実習、統合実習を振り返り、その中でどのようなことを体験したのかをグループで話し合う。</p> <p>第3回 気がかりな状況・場面 臨地実習での自己と対象 (患者・家族・利用者・指導者など) との間の状況や場面を想起し、振り返りたい事例を作成する。</p> <p>第4回 スーパービジョン スーパービジョンとは何か、スーパービジョンの事例を通して学ぶ</p> <p>第5回 グループスーパービジョン 実際にグループで自分自身の事例についてスーパービジョンを行う</p> <p>第6回 グループスーパービジョン</p> <p>第7回 スーパービジョンの分析と振り返り</p> <p>第8回 プレゼンテーション・まとめ</p>							<p>1回：大西</p> <p>2～8回 大西、松田、永住</p>
評価方法 評価基準	レポート 40%、プレゼンテーション 20%、グループワーク 40%							
教科書	なし			参考書等	なし			
学生への助言等	<p>今までの臨地実習での場面を実際に取り上げて振り返る作業を行います。</p> <p>自己の課題についてグループワークやプレゼンテーションを通じて、対象や自己のあり方等について考えていきます。</p>							